

校長室だより



令和2年9月23日
校長 齋藤 瑞穂

先週、9月14日の朝会では、大坂 なおみ 選手の全米オープンテニス大会女子シングルス優勝のニュースを話題にしました。新型コロナウイルス感染症の影響で試合ができない期間を前向きにとらえ、走りこむことで基礎体力をさらにつけたこと、また、毎日違う人の名前が記されたマスクを着けて荷を伝えたかったのか調べてみてほしいという話をしました。調べてみた人はいたかな？



一方、上地選手は、グランドスラムの優勝回数シングルス7回、ダブルス15回。こちらの記録もすごいですね。今年全豪オープンでは、シングルスもダブルスも優勝しました。

これだけの成績を残している二人ですから、来年に延期された東京パラリンピックでは、もちろん、最有力金メダル候補です。どんな活躍を見せてくれるのか、今から楽しみです。

東京オリンピック・パラリンピックでは、スポーツを通じ、障害の有無はもちろん、肌の色や使っている言葉、くらししている国の政治の仕組み、信じている神様や性別のちがいをこえて、世界の人と仲良くなりたいですね。

すごいぞ!! 日本のパラアスリート

さて、同じ全米オープンテニス大会で、日本人選手はあと2種目、優勝しました。単いす部門男子シングルスの国枝 慎吾 選手と、同じく車いす部門女子ダブルスで英国の選手とペアを組んだ上地 結衣 選手です。

国枝選手は、なんと、テニスの四大大会（グランドスラムと呼ばれます）で24回、ダブルスを含めると44回優勝しており、パラリンピックの金メダルを3つ持つ大選手。競技する人の数がテニスと車いすテニスでは大きくち



がうとはいえ、四大大会優勝回数では現在歴代最多のロジャー・フェデラーが20回ですから、国枝選手の記録がどれだけすごかわかるでしょう。

あき ぜんこくこうつうあんぜんうんどう 秋の全国交通安全運動 9月21日(月)～30日(水)

「秋の日はつるべ落とし」と言うように、これから日が暮れるのが早くなってきます。すると、夕方、歩いたり自転車ですりたりしている子供やお年寄りの事故が増えるそうです。

交通ルールを守って行動するのはもちろんですが、暗くなっても車を運転する人によく見えるような工夫（光が当たると反射して光るものがついている靴や服を身に着けるなど）をして、自分の身を守りましょう。

また、キックボードやスケートボードなどに道路で乗るのは大変危険です。使ってもよい場所で、周りに注意して安全に遊びましょう。

保護者の皆様

四連休（子供たちは残念ながら三連休になってしまいましたが…）はいかがお過ごしでしたか？「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、大変厳しい残暑もようやくひと段落したようです。これからは学習にスポーツに気持ちよく取り組める季節になるでしょう。子供たちは、10月の体育的行事の公開に向け、ますますがんばっています。「東京 victory」のメロディーに乗り、生き生き軽やかにリズム体操をしている姿を見ると、コロナ禍の中であることを忘れそうになりますが、都内の感染状況はまだまだ予断を許しません。公開日には全員そろって元気に学習の成果をお見せできるよう、引き続き感染症予防対策には注意を払って参ります。